

一斉検診は定期的に

公害なくす 水俣病で県に要望

水俣病訴訟支援・公害をなくす

る県民会議（福田令寿代表幹事）

は、二十三日午後県に対し「県の

一斉検診は、長期かつ広範囲に渡

り実施してほしい」など七項目を

要望した。

要望は①一斉検診は定期的に行

なつてほしい②汚染の疑いのある

地域全住民を継続的に実施してほ

しい③県公害被害者認定審査会に

熊本医学部の眼科、整形外科、耳

鼻インコウ科、公衆衛生などの専

門家のほか、実際に検診に当たっ

ている臨床医なども加えて民主的

に運営できるようにしてほしい

など。

これに対し富島衛生部次長は

「一斉検診は一回きりで終わらせ

るつもりはない。隠れ水俣病発掘

のため、県も前向きに対処した

い」と答えた。